



毎月第3日曜は「家庭の日」

子育てにおいて家庭が果たす役割は大変重要です。そこで、家族のきずなを大切に作る日として、毎月第3日曜日を「家庭の日」と定め、併せて月別の取組みテーマを提案しています。

【月別テーマ】

12月「家族みんなで協力して、仕事を分担して助け合う」
 1月「新しい年を迎え、一年の計画をたてる」
 2月「寒さに負けない心と体をつくる」
 3月「学期の節目を迎え、一年間の子どもの成長を祝う」

山形県青少年育成県民会議の活動について御理解と御協力をお願いします。



令和2年度“明るいやまがた、夏の安全県民運動出発式”

本年7月22日（水）～8月21日（金）の31日間、令和2年度“明るいやまがた、夏の安全県民運動が展開され、運動期間初日の7月22日に山形県議会議場前で出発式を行いました。

今年度は新型コロナウイルス感染症対策として参加範囲を大幅に縮小し、例年の山形県文翔館から会場を移しての開催となりましたが、この出発式を皮切りに、県内各地域において、交通、防犯、青少年育成など各方面の皆様のご協力のもと、様々な取組みを実施していただきました。

エフエム山形「キッズガードキャンペーン」の協賛



県民会議では、春に行われているエフエム山形の「Rhythm Station キッズガードキャンペーン」に協賛しており、番組内のキャンペーン啓発スポット放送や県内の小学校新入学児童全員に「あんぜん・あんしんガイドブック」を配布する費用の一部に活用されました。

山形県少年の主張大会の中止について

毎年9月下旬に開催の県内の中学生を対象とした山形県少年の主張大会は、新型コロナウイルス感染症及び県内中学校の一斉休校期間の影響などを考慮し、やむなく中止としました。

例年11月に開催されている全国少年の主張大会は、特例で主催団体に中学生が直接エントリーする制度が設けられ、本県から10名の生徒のエントリーがありました。なお、全国大会も今年はビデオ放映の形での実施となりました。

令和2年度山形県青少年育成県民会議総会（書面会議）

今年度の県民会議総会は、新型コロナウイルスの感染拡大のため書面開催となりましたが、提案した議案については全て承認され、今後2年間の県民会議の運営を担う新役員体制がスタートしました。引き続き、会員の皆様のご協力をお願いします。

鈴木慈県民会議会長からのメッセージ



今年は、新型コロナウイルスの感染拡大による学校の一斉休校、イベントや外出の自粛など、私たちの生活にも大きな影響が及び、本県民会議の総会も書面開催とせざるを得なかったほか、山形県少年の主張大会の中止など事業の実施にも大きな影響が生じました。

そうした中、10月に上市市において、山形県青少年健全育成県民大会を例年より規模を縮小しつつも開催し、県内各地から青少年育成に取り組む皆様に御参加をいただき、今後の青少年の健全育成に向け心を新たにに取り組む想いを共有することができました。これからも一緒に頑張ってまいりましょう。

山形県青少年育成県民会議入会のお願い

当会議では、次世代を担う青少年の健全な育成を図るため、「大人が変われば子どもも変わる」県民運動や“いじめ・非行をなくそう”やまがた県民運動を展開しています。活動や趣旨にご賛同、ご協力いただける新規会員の方を募集しております。機関誌をご覧くださいにいただいている皆様からも、ぜひお声がけをお願いいたします。

☆現在の会員数(1,383名) 令和2年10月末現在
 会員の皆様には会報をお送りするとともに特別会員は会報及び総会資料に、賛助会員は総会資料にお名前を掲載させていただきます。

問合せ・申込み先

山形県青少年育成県民会議事務局
 (県若者活躍・男女共同参画課内)
 TEL：023-630-2727
 FAX：023-632-8238



☆会員の種類と会費

・特別会員（1口3万円） ・賛助会員（1口5千円）
 ・団体会員（1口1千円） ・個人会員（1口1千円）

【特別会員】

・全国農業協同組合連合会山形県本部
 ・全国共済農業協同組合連合会山形県本部
 ・一般社団法人山形県建設業協会
 ・一般社団法人山形県銀行協会
 ・山形放送株式会社
 ・出羽三山神社
 ・高橋畜産食肉株式会社
 ・株式会社グローバルマシーン

敬称省略・順不同

見守る目・育む芽 43

山形県では、平成25年度から“いじめ・非行をなくそう”やまがた県民運動が展開されています。

P1 いじめ・非行防止セミナー 講演

<運動の基本方針>

- ◎学校、家庭、地域が連携し、みんなでいじめ・非行を許さない社会づくりをすすめていこう。
- ◎いじめを受けて悩んでいる子どもたちが相談しやすい環境をつくっていこう。



P2 いじめ・非行防止セミナー 事例発表
 令和2年度“いじめ・非行をなくそう”やまがた県民運動の取組み

P3 令和2年度山形県青少年健全育成県民大会

P4 「県民運動の取組み」「会長からのメッセージ」

いじめ・非行防止セミナー



今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止を考慮し、規模を縮小しての開催となり、講演はビデオ映像による講演となりましたが、青少年に関わる参加者が情報共有を図り、今後の活動に向けて意義深いものとなりました。



○講演 講師 合同会社Art&Arts社長（『こども六法』著者）山崎 聡一郎 氏

「いじめを予防するために、いじめを根絶しよう」としない」

自己紹介
 山崎聡一郎
 （やまさきそういちろう）

- ・「こども六法」著者
- ・教育研究者
- ・ミュージカル俳優
- ・写真家・プロカメラマン
- ・その他（社長・司会業とかとか・・・）



『こども六法』の著者でミュージカル俳優としても活躍する山崎聡一郎氏を講師に迎えたビデオ講演では、はじめに「いじめ防止対策推進法」という法律について、著書の『こども六法』を引用しながら分かりやすく解説。「いじめを根絶しようとする考えは、いじめの隠ぺいを招き、早期発見を妨げる」と論説し、いじめはほとんど発見するのがトレンドで、いじめの認知件数が全国でも多い山形県は非常に模範的であると述べました。

子どものSOSに気づくには「習慣を味方につける」ことが大事で、朝のあいさつ、毎日の会話などを習慣化し、普段からコミュニケーションをとり、日常の崩れを感じ取ることが大切であるとアドバイス。小さい頃いじめにあった経験を交えながら語る山崎氏の論理には説得力があり、ビデオ上映後はスクリーンに盛大な拍手が送られました。

いじめ防止対策推進法のポイント

- ①未然防止、早期発見早期対応、重大事態の三つの段階に分けてやるべきことを提示
- ②未然防止が重視されがちだが、いじめ定義の広さからわかるように実は「早期発見」はかなり重視されている
- ③いじめ対応は「チーム戦」である
 ①：先生でチームを組む
 ②：学校は、保護者とほむろろん、警察や児童相談所などの学校機関とも連携する
 ③：学校設置者や学校は重大事態の解決と分析をする専門家集団を組織する



いじめ・非行防止セミナー 事例発表

○内容 「山形市における青少年健全育成の取組み」 山形市青少年育成市民会議 副会長 玉ノ井 一 氏



今年の事例発表は、玉ノ井一副会長による、山形市青少年育成市民会議の取組内容の紹介でした。声かけやティッシュ配布などで啓発活動を行う「高校生自転車マナーアップ運動」の様子や、地域から推薦を受けた個人・団体を表彰する「青少年の善行表彰」の取組状況など、日頃行っている活動について詳しく説明があり、「青少年の善行表彰」では、できるだけたくさんの青少年及びその団体を表彰することに務めているとのこと。今後は、親子で一緒に行う活動に力を入れていくそうです。最後に「これから青少年と直接話す機会をたくさん設け、青少年の健全な育成を応援していきたい」と述べ、発表を締めくくりました。

○インタビュー



Q：活動を通して感じていることを教えてください。

A：山形市民みんなが参加できる「市民会議」であるべきですが、まだまだ存在を知らない人が多いので、認知度を高めていくための取組みも考えています。また、市民会議には、いろんな団体や、さまざまな職種の方々が集まっていますので、より多くの「見守る目」で、子どもたちを健全に育てていきたいと思っています。活動の中では「親子のふれあいのつどい」に力を入れています。親と子が目を合わせながら一つのものをつくることで絆が強まり、家庭内暴力やいじめをしない健全な子どもたちが育っていくと思うので、おじいちゃん、おばあちゃん、おじさんやおばさんでもいい、その子を大切に思う大人との良い関係が結ばれる機会を増やしていきたいですね。

令和2年度“いじめ・非行をなくそう”やまがた県民運動の取組み

令和2年度 いじめ防止 優秀標語

「いじめ防止」標語を募集したところ、県内の小・中学校から計48,112件の応募があり、今年度は下記4作品が見事優秀賞に輝きました。入賞者は10月25日に三友エンジニア体育文化センターで開催された青少年健全育成県民大会において表彰を受けました。

村山地区

ふせごうよ いじめウイルス 心のマスクで
河北町立谷地南部小学校 2年 後藤 杏林 さん 作

最上地区

気づいてよ ぼくのこころの ホイッスル
山形県立新庄養護学校小学部 4年 笠原 永遠 さん 作

置賜地区

だめだよと たった一言 その勇氣
小国町立小国小学校 2年 舟山 莉夢 さん 作

庄内地区

なやみごと なんでもはなせる あかるいかてい
酒田市立泉小学校 1年 佐藤 菜央 さん 作

令和2年度 いじめ・非行をなくそうポスター

“いじめ・非行をなくそう”やまがた県民運動の周知・啓発を図り、また「いじめ防止」優秀標語を広く県民の皆様にご覧いただくために、県内の高校生を対象にポスターのデザインを募集し、作成しました。



山形県立遊佐高等学校 3年 門脇 らな さん 作

命を大切に、楽しく生きて欲しいという意味を込めて、笑顔の男の子を描きました。また、ハッキリとした色を使うことで明るさを表現しました。

令和2年度山形県青少年健全育成県民大会

蔵王の紅葉も見頃を迎えた10月25日（日）、令和2年度山形県青少年健全育成県民大会が、上山市の三友エンジニア体育文化センターにて開催されました。新型コロナウイルス感染症の影響により規模を縮小しての開催となりましたが、表彰式やいじめ・非行防止セミナーなどは例年どおり執り行われ、青少年の健全育成の大切さを再認識し、決意を新たにす絶好の機会となりました。

<受賞者のみなさん>

青少年育成功労者

伊藤 淳一 さん（山形市） 村山 茂暢 さん（大江町）
恵山 孔善 さん（山形市） 三原 伸二 さん（新庄市）
斉藤 慎爾 さん（山形市） 齊藤 菊雄 さん（最上町）
高橋 豊 さん（山形市） 八鍬 啓一 さん（最上町）
武田 直子 さん（山形市） 沼澤 慈 さん（真室川町）
佐藤 衛 さん（河北町） 吉田こずえ さん（米沢市）
佐藤 勇一 さん（大江町） 須貝 智 さん（南陽市）

青少年健全育成 県民運動協力団体

米沢 BBS 会（米沢市）

今年度の“いじめ・非行をなくそう”やまがた県民運動の取組みで、「いじめ防止」の標語とポスターの優秀作品の作者を表彰いたしました。

優秀標語作者

後藤 杏林 さん（河北町）
笠原 永遠 さん（新庄市）
舟山 莉夢 さん（小国町）
佐藤 菜央 さん（酒田市）

ポスターデザイン最優秀作品作者

門脇 らな さん（山形県立遊佐高等学校）



鈴木慈県民会議会長の挨拶



受賞者のみなさん

「山形県子ども・若者ビジョン」の策定

県では、全ての子ども・若者が心身ともに健やかに成長し、夢と希望を持って、活き活きと幸せに生きていけるように、子ども・若者の育成支援を県民が一体となって推進していくため、令和2年3月に「山形県子ども・若者ビジョン」を策定しました。

3つの柱と基本方針

Ⅰ.子ども・若者の健やかな育成と自立の促進

一人ひとりが安心できる環境の中で、自分を大切に、他者との関わりを通して自己形成や他者に対する尊重、社会への参画力を醸成できるよう、また、子どもの頃から郷土に愛着や誇りを持ち、「山形らしい」自然の力や風土、精神文化に育まれた、心身共に健全で豊かな人間性が養われるよう、社会全体で子ども・若者の育ちや自立を支援します。

Ⅱ.未来を拓く子ども・若者の応援

若者が地域とつながり、人とのつながりの中で、持てる力を十分に発揮し、地域、職場、家庭において役割と責任を十分果たすとともに、子ども・若者が山形暮らしの良さを認識し、県づくりの主体として活躍できる環境づくりを推進します。

Ⅲ.困難を有する子ども・若者や家族への支援

困難を有する子ども・若者とその家族が、困難な状況にあっても希望を持って生活できるよう、分野や主体の境界を越えて地域全体で互いに連携協力し、個々の状況に応じたきめ細かな支援を継続的に実施します。

詳細は、県のHPへ掲載しております。

新型コロナからみんなを守る県民リレー

新型コロナウイルス感染症による危機的な状況を県民が心を一つにして乗り越えるため、一人ひとりが何を考えどう行動するか、またどんな工夫をしているかなどの県民の思いや行動を各テレビ局での放送や、SNSを活用して広く発信し、その行動の輪を広げていくことで、県民一体となった感染防止に向けた意識の醸成に取り組みました。県民リレーは、子育て若者応援部Facebook「やっぱ山形。子育て若者応援隊」でも発信していますので、ぜひご覧ください。



お子様のインターネット 利用について、 保護者の皆様へお願いします。



新型コロナウイルスの影響で、在宅時間が増えるにつれ、お子様のインターネット利用時間が増えていませんか？
家庭内のルールを決めるほか、フィルタリング（有害情報等の閲覧を制限する機能）を始めとするペアレンタルコントロール（利用状況の把握や安全管理等を行う仕組み）を活用して、利用時間や利用環境を整えましょう。（機能の詳細は販売店等で確認してください。）
お子様が見知らぬ相手と連絡を取り合う危険性があるのは、SNSだけではなくオンラインゲームも同じです。全国的には、オンラインゲームを接点とした事件も起きておりますので、インターネットで知り合った相手に個人情報を教えたり、直接会ったりしないよう御指導をお願いします。